

R4 年度 第 1 回「新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究」班会議 (kick off meeting) Agenda

日時 2022年6月4日(土) 13時10分~16時10分(最長17時00分)

開催方法: 会場+zoom meeting(ハイブリッド開催)

会場場所: ビジョンセンター横浜402号 (最下段にアクセス図有)

〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2丁目5-15 プレミア横浜西口ビル 4F

<https://www.visioncenter.jp/yokohama/access/>

& zoom meeting(以下 URL)

<https://us02web.zoom.us/j/84110948735?pwd=dzVUL1ZlTDVoR0tuQk9PaUFQTDhjdz09>

ミーティング ID: 841 1094 8735 パスコード: 922666

参加予定者: 51名 (一部の方は席指定となります 下線は新規分担当員)

現地参加者(敬称略): 行本、野沢、木塚(肝炎室) 立道、深井(東海) 徳本(愛媛)

高橋(佐賀) 榎本、小塚(大阪公) 井上貴(名市) 内田(埼玉) 井上泰(韮崎市民)

井出(久留米) 江口、矢田、松本(口コメ) 後藤、沢口(慶応) 小川、大原(北海道) 井上

淳(東北) 池上・曾田(茨城医) 柿崎(高崎医) 今井(川崎市) 川部(藤田医) 末次(岐阜)

加治屋(広島) 日高(山口済) 立木(徳島) 堀野(高知) 瀬戸山(熊本) 遠藤(大分)

永田(宮崎) 竹内、是永、磯江(情報C) 37名

Zoom参加者(敬称略): 森山(PO) 滝澤(研究企画) 寺井、荒生、酒井(新潟) 島上(金沢)

戸所(群馬眼) 戸島(群馬肝) 相崎(感染研) 平山(愛知県) 加藤(下関厚) 渡辺、今井(愛

媛) 西村(美川眼) 磯田(佐賀) 15名

進行案

・挨拶(15分)

肝炎対策推進室(行本・野沢・木塚様) プログラムオフィサー(森山様) 企画室(滝澤様)

新規分担当員*(徳本先生 小塚先生 後藤先生 川部先生 大原先生 *現地参加者)

・議 題

1. 2年間経過と今年度について(是永 10分)

2. 政策研究班から(スライド・コメント可); コ江口先生⇒w島上先生

3. 今年度の研究成果予定(スライド3枚 次演者は発表席となりに移動ください)

a 重点課題担当者から(徳本先生⇒井上泰先生⇒高橋先生 (w西村先生・w戸所先生・

コ井出先生) ⇒井上貴先生(加治屋先生) ⇒磯田/榎本先生⇒立道先生)

*重点課題分で3枚+別課題有あれば1枚追加可能

(次ページ有)

b. 各分担員から：榎本先生（小塚先生）⇒小川先生⇒井上淳先生⇒w 荒生先生⇒池上先生⇒柿崎先生⇒内田先生⇒末次先生⇒日高先生⇒遠藤先生⇒永田先生⇒瀬戸山先生⇒w 相崎先生⇒w 加藤先生

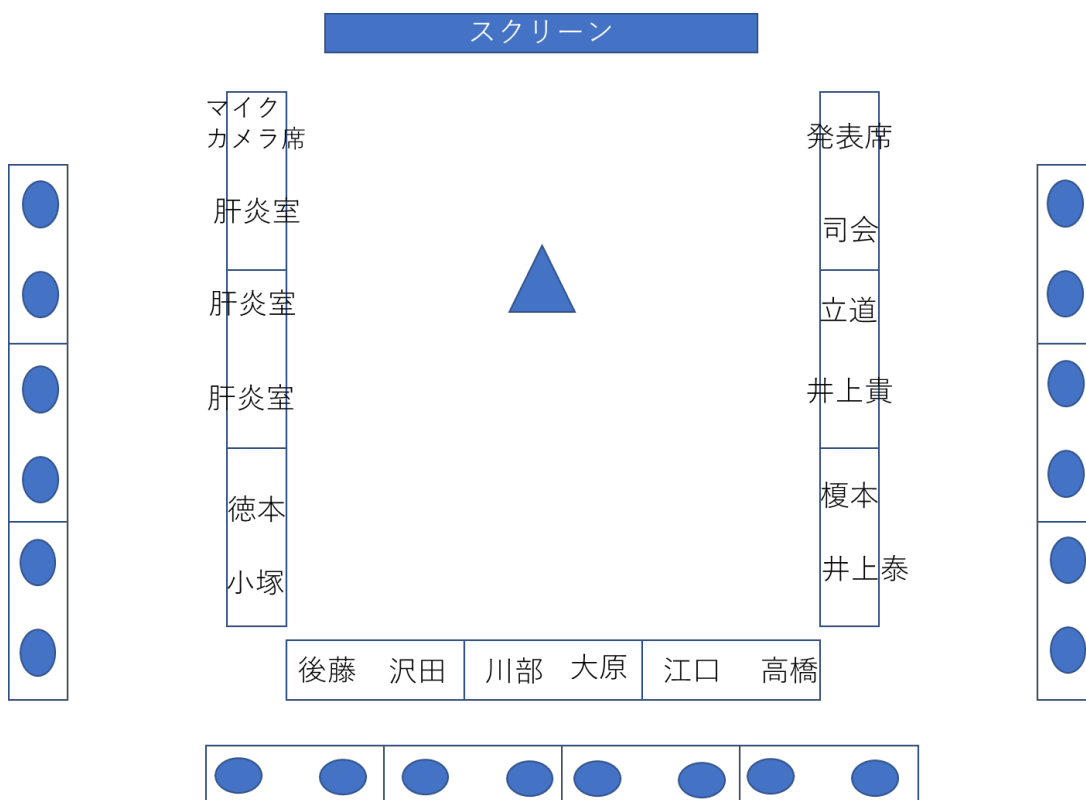
3. 討論・総評（10分）

4. 事務連絡(今後の会議予定)（5分）

榎本先生より（門脈圧亢進症学会） 井上貴先生より（愛知県肝 Co 養成研修会）
 是永より（肝臓学会主催 市民公開講座 関東地区）(HBsAgGI について)
 作業部会と班会議について

特定科対策（7/16 15時 or 15時 30分） 自治体 9月 or 11月

職域・両立（9月） 院内非専門医（陽性者について調査票をお送りします）



R4年度 第1回「新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究」班会議 (kick off meeting) 議事録

日時 2022年6月4日(土) 13時10分~15時50分

開催方法: 会場+zoom meeting(ハイブリッド開催)

会場場所: ビジョンセンター横浜402号

現地参加者(敬称略): 行本、野沢、木塚(肝炎室) 立道、深井(東海) 徳本(愛媛) 高橋(佐賀) 榎本、小塚(大阪公) 井上貴(名市) 内田(埼玉) 井上泰(荊崎市民) 井出(久留米) 江口、矢田、松本(口コメ) 後藤、沢口(慶応) 小川、大原(北海道) 井上淳(東北) 池上・曾田(茨城医) 柿崎(高崎医) 今井(川崎市) 川部(藤田医) 末次(岐阜) 加治屋(広島) 日高(山口済) 立木(徳島) 堀野(高知) 瀬戸山(熊本) 遠藤(大分) 永田(宮崎) 竹内、是永、磯江(情報C) 37名

Zoom参加者(敬称略): 森山(PO) 滝澤(研究企画) 寺井、荒生、酒井(新潟) 島上(金沢) 戸所(群馬眼) 戸島(群馬肝) 相崎(感染研) 平山(愛知県) 加藤(下関厚) 渡辺、今井(愛媛) 西村(美川眼) 磯田(佐賀) 15名

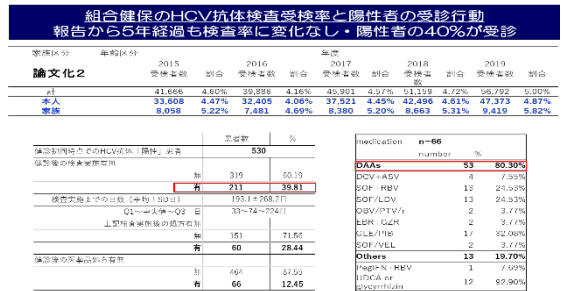
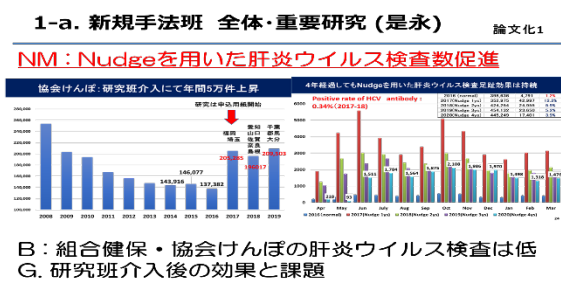
議事録

0. 肝Co班(江口班) ICT班(金子班)からの情報共有

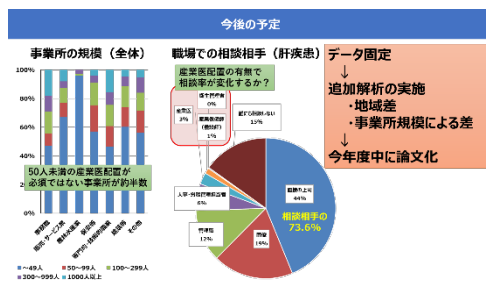
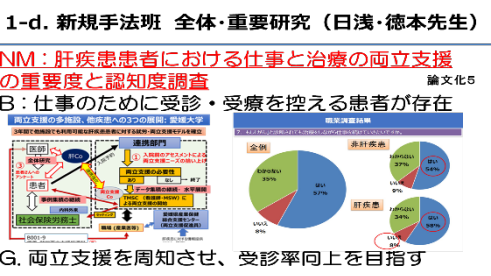
1. 重点課題(担当者 敬称略)

- ・職域肝炎ウイルス検査(是永): nudgeによる検査促進(論文化1)

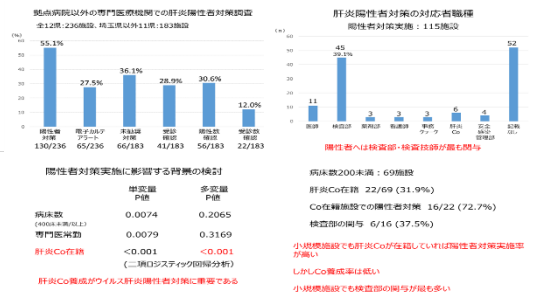
レセプトdata 用いた組合健保肝炎ウイルス検査数と陽性者の受診行動(論文化2)



- ・両立支援(徳本・日浅): 認知度調査解析(論文化3)



・専門医療機関における非専門科肝炎ウイルス陽性者対策（井上泰 井出 論文化4）



R4年度 山梨県井上泰輔 目標

1. 拠点病院以外の専門医療機関での肝炎陽性者対策調査
新規手法：多地域の現況調査を統合して解析する
新たな指標を作成・配信して改善させる
論文文化して発表
2. 自治体陽性者対策
新規手法：独自事業を展開している市町村の解析
3. その他
新規手法：SVRカード配布例の解析

・眼科における肝炎対策（高橋 西村 戸所 井出 コミュニケーションツール作成・展開）



新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究(20HC104) R4年度目標→解析予定 (西村担当)

- ①新リーフレットを使用して、患者の感想を継続的に聴取し、今後の資料作成に活用する。
- ②佐賀県眼科医会で手術を行なっている会員にアンケートを行ない、佐賀県下での眼科に關しては、受診勧奨システムを完了する。
- ③佐賀県医師会とも連携して、講演会を開催して、眼科以外の整形外科、皮膚科などの他の診療科での受診勧奨システムを構築するための準備を開始する。

眼科への取り組み

福岡県全部での眼科に協力依頼予定 (6月中旬)

2022年春に福岡県眼科医会理事会で承認を得た。

(肝炎ウイルス陽性のときに対応に困るので、このような取り組みは助かるとのコメントをいただいた)

1. 学会発表

- ・日本臨床眼科学会 (2022年10月13-16日)
「肝炎医療Co導入による肝炎ウイルス陽性者対応の適正化」
- ・要旨：
 - ・肝Co設置前後33か月間の陽性者96名を対象とした
 - ・陽性者96名のうち、55名は治療中・治療済だった
 - ・B型4名、C型37名(計41名)の陽性者が新規に発見された
 - ・肝Co設置前の新規発見23例中17例(74%)が未対応だった
 - ・肝Co設置後は全例に説明と対応が行われていた
 - ・未対応17例中9例(53%)は緊急手術で、検査結果を待たずに手術が行われていた

2. 肝炎ウイルス説明資料の試験運用を継続

- ・大規模の眼科クリニックを対象に加えたい
- ・おそらく肝Coが必要だろう

・歯科における肝炎対策（井上貴 加治屋 歯科医師会への講習会⇒全国展開）

非専門医対策 歯科の特性に着目した 愛知県歯科医師会主導での肝炎対策

これまでの経過

- ・歯科クリニックでは肝炎検査実施が困難で、問診から情報を入手する
- ・愛知県歯科医師会主導での肝炎対策:2018年～
歯科医師会主催の講習会(歯科医師も講演)
→受講者はより肝炎患者を医師に紹介し(p<0.001)、標準予防策を実施する(p=0.01)(2020年アンケートより)
歯科向け資料(肝炎下敷き)・診療情報提供書
- ・肝炎医療コーディネーター養成講習会を主催(2021年9月12日)
歯科医師の肝炎医療コーディネーター139名を養成(2021年末時点)

今年度の計画

- ・歯科医師会主催の講習会の継続
- ・肝炎医療コーディネーター養成講習会を主催(2022年9月11日)
- ・「肝炎の講習会を受講した歯科医師」を県歯科医師会HPに掲載
- ・中部日本デンタルショーのブースで展示・発表(2023年2月18-19日)

講習会を受講した歯科医師は肝炎患者を紹介する

職種別の肝炎医療コーディネーター数

新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率向上に資する研究
非専門医作業部会 歯科対策 広島大学病院 口腔検査センター 加治屋幹人

広島県歯科医師会主導の新規肝炎対策普及活動
—愛知県モデルについて、広島県での有効性・展開可能性検証—

R3年度の活動

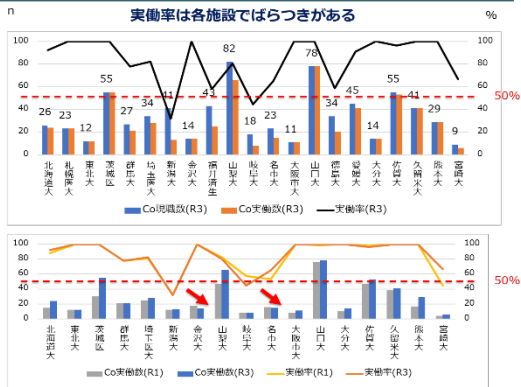
- ・広島県歯科医師会 学術理事向け講習会
- ・安佐歯科医師会/山県郡歯科医師会 歯科医師会主導講習会+前後アンケート調査

R4年度の活動目標

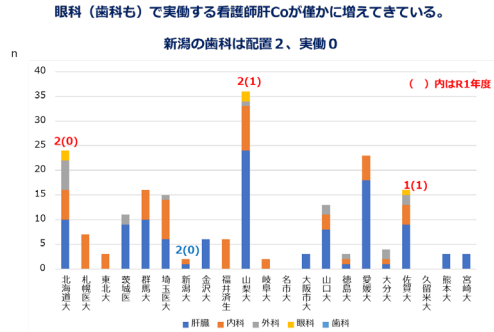
- ・各市歯科医師会 歯科医師会主導講習会+前後アンケート調査
- ・福山市歯科医師会
- ・東広島市歯科医師会 歯科医師会主導講習会+前後アンケート調査
- ・広島市歯科医師会
- ・その他、都市区歯科医師会など 合計5回
(2022,11月頃)
- ↓
- ・広島県歯科医師会 上記講習会アンケート結果に基づく、新規歯科医師会主導講習会+前後アンケート調査
(2023,1月頃)
- ↓
- ・広島県歯科医師会 肝炎に関する全体アンケート調査(講習会有効性検証)
(2023,3月頃)
- ↓
- データ解析・論文作成

・肝 Co 配置是正（磯田 再調査）⇒論文化5

肝炎医療コーディネーター配置状況調査（R3年度）



看護師肝Coの実働する診療科（R3年度）

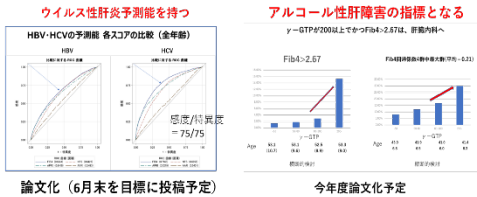


・職域肝炎検査ボトルネック解析・FIB4 検診利用(立道)

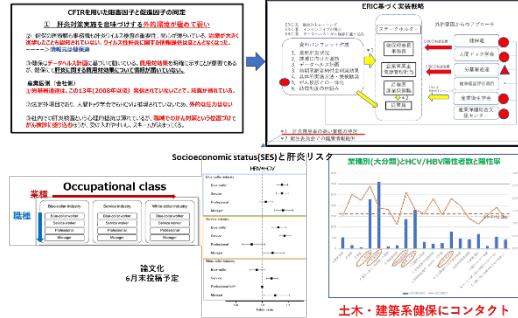
⇒FIB4 有効性+職種別陽性率 論文化 6,7

新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究(20HC104) R2~3年度成果 (立道担当)

① 職域肝炎ウイルス検査促進のため→新規手法：Fib4の健康診断での役割説明



新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究(20HC104) R4年度目標 (立道担当)



2. 各分担当の今年度目標

榎本先生：大阪産婦人科対策と肝 Co 配置是正論文校正

今年度の目標

1. 院内受診動奨システム(個別動奨→肝炎医療Coが活躍できるシステム)
2. 肝炎医療Coに関するアンケートの論文化(with 磯田先生)
3. 特定診療科へのアプローチ(眼科、産科、歯科、整形...)
4. 両立支援(B型肝炎+α)

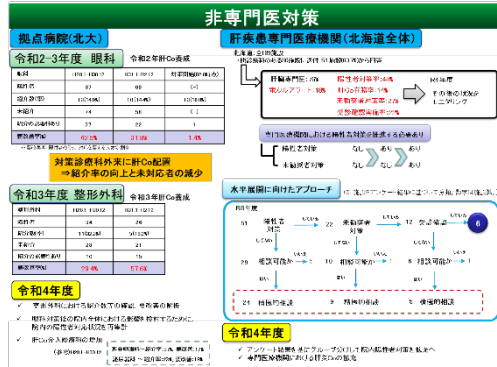
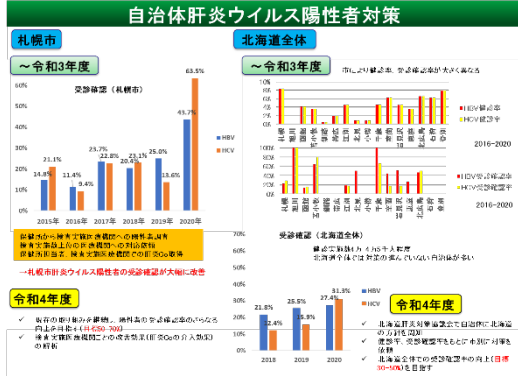
小塚先生：大阪高感染地域の陽性者 follow up(FU)

R4年度の目標

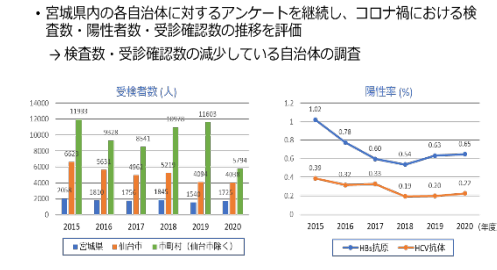
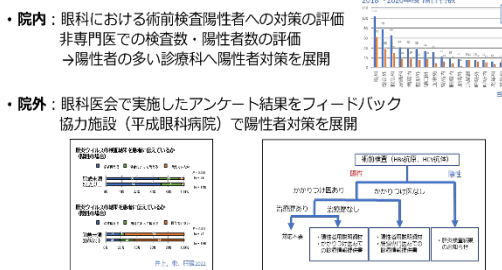
院内外非専門医陽性者対策

- ・全体研究⇒高浸淫エリアの専門医療機関における横展開
 - ✓ 拠点病院での非専門医陽性率・紹介率調査
 - ・大阪公立大学病院での2016~2020年までの陽性率・陽性者数については多施設共同研究に協力
 - 大阪社会医療センターでの2016~2020年までの陽性率・陽性者数を同スキームで調査・解析
 - 大阪社会医療センターでの陽性の疫学調査との比較→論文化予定
 - ✓ 肝炎医療コーディネーターの配置是正
 - ・大阪社会医療センターでの養成数(現在4名)と職種を調査
- ・個別研究⇒大阪社会医療センターの患者背景を考慮した拾い上げと受診動奨
 - ✓ 非専門医陽性者の前向きな入院中の拾い上げ(背景：非専門医の検査の多くは入院時に実施)
 - 陽性者に対して入院中にHCV-RNAを測定し、受診動奨対象者を絞り込む。
 - ✓ 他職種連携による受診動奨(背景：精神科、整形外科のみ通院を継続する患者が多い)
 - 臨床検査室と連携し、陽性者リスト作成。患者相談室と連携し、他科受診時に受診動奨。
 - ✓ 郵送による受診動奨の拡大(背景：専門医や病院への未受診・通院中断率が高い) →新規手法

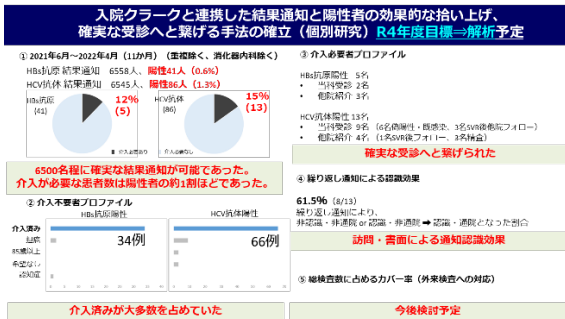
小川先生：北海道受診確認率の向上 院内眼科陽性者FU 専門医療機関陽性者FU



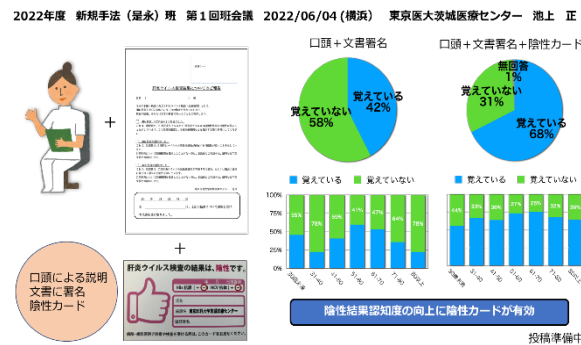
井上淳先生：宮城県眼科陽性者FU 自治体陽性者受診確認率の向上 院内陽性者FU



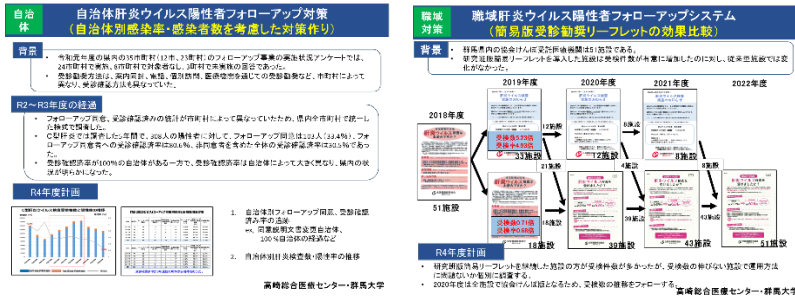
荒生・寺井先生：院内陽性者FU



池上先生：陰性カード効果(論文化8)



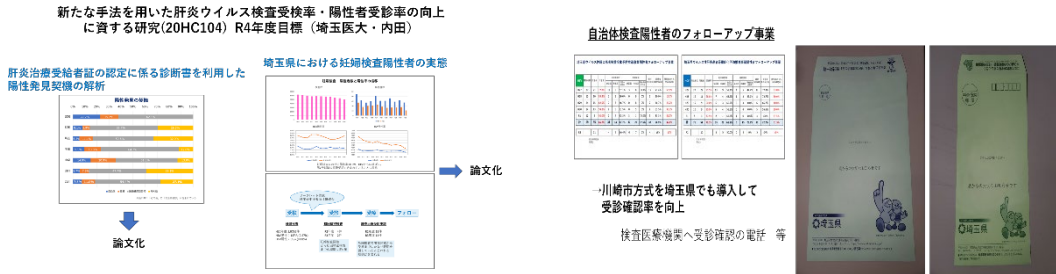
柿崎先生：群馬 自治体陽性者受診確認率の向上 協会けんぽ肝炎検査数調査



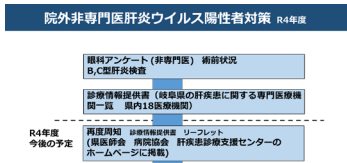
内田先生：多施設自治体陽性者発見契機 埼玉県妊婦健診疫学調査 (論文化 9 10)

自治体陽性者 FU 向上

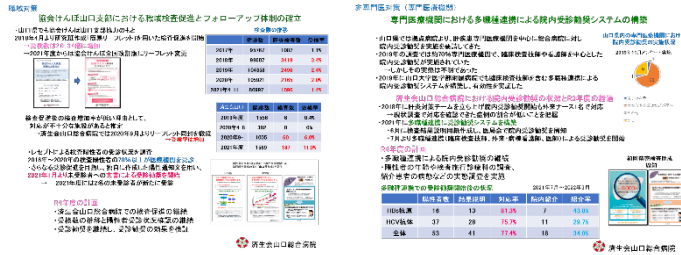
新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究(20HC104) R4年度目標 (埼玉医大・内田)



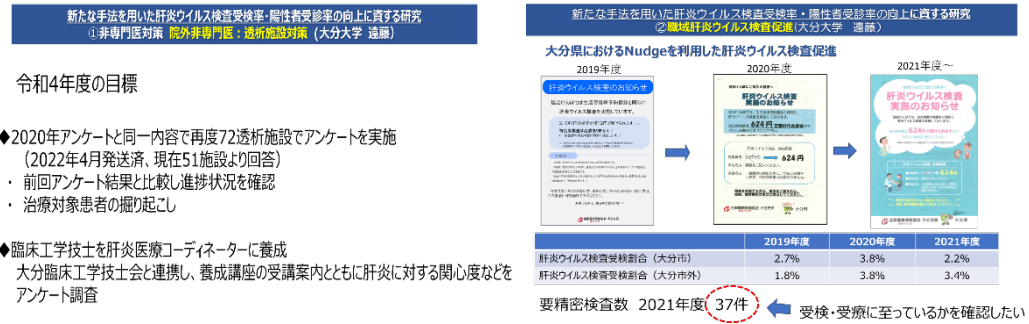
末次先生：岐阜県眼科医対策 (研究班外展開)



日高先生：山口県協会けんぽ肝炎検査調査 院内陽性者 FU 向上



遠藤先生：透析陽性者対策 協会けんぽ肝炎検査調査 (nudge が有効という論文は?)



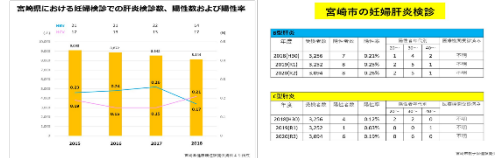
永田先生：宮崎県妊婦健診陽性者FU（20ys HCV 陽性者有） 協会けんぽ肝炎検査調査

新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究(20HC104) R4年度目標→解析予定 (永田担当)

- ① 自治体陽性者陽性者対策
 - ・妊婦検診における肝炎陽性者の実態調査（宮崎市・宮崎県）
 - ・妊婦検診における肝炎検査陽性者の実態調査（全市町村対象アンケート）
 - ・妊婦検診受検者への肝炎検査確認勧奨チラシ作成・配布（宮崎市）
- ② 院内外非専門医陽性者対策
 - ・拠点病院院内非専門医陽性率・陽性者の実態調査
 - ・拠点病院外専門医療機関陽性者紹介率追跡調査
- ③ 職域肝炎ウイルス検査促進・陽性者対策
 - ・本部作成受検用紙による検査受検率と陽性率調査（協会けんぽ宮崎支部）

新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究(20HC104) R2～3年度 (永田担当)

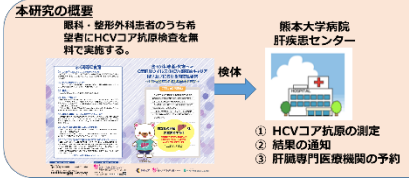
- ① 自治体陽性者陽性者対策
 - ・妊婦検診における肝炎陽性者の実態調査（宮崎市・宮崎県）
- ② 院内外非専門医陽性者対策
 - ・拠点病院外専門医療機関陽性率・陽性者の実態調査（多施設）
- ③ 職域肝炎ウイルス検査促進・陽性者対策
 - ・本部作成受検用紙による検査受検率と陽性率調査（協会けんぽ宮崎支部）



瀬戸山先生：整形外科・眼科陽性者対策

令和4年度テーマ
眼科・整形外科における治療を要するHCV患者率に関する調査、評価

- 本研究の目的**
- ◆ 現在のHCV感染（HCV抗原、HCV-RNA陽性）に関する情報が患者の専門医受診行動に与える影響
 - ◆ 眼科・整形外科患者におけるHCVコア抗原陽性率（治療を要する患者の割合）
 - ◆ HCV患者拾い上げ



令和4年度テーマ
眼科・整形外科における治療を要するHCV患者率に関する調査、評価

進捗状況

- ・県内基幹病院6施設の眼科で実施（2022年5月時点）
- ・4/25よりエントリー開始し、現在85検体収集

今後の予定（目標：各科1000例）

眼科からスタート

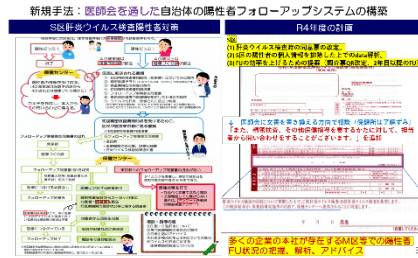
A群：スタート施設
熊本県内各地域で眼科がある公的病院（熊本市内を除く）
山鹿医療センター、くまもと県北病院、水俣医療センター、熊本総合病院、上天草総合病院、人吉医療センター、天草中央病院

B群：A群で3ヶ月ほど実施後、問題点などを明らかにしてからB群へ
熊本市内の公的病院（国立、日赤、市民など）
熊本県内各地域で手術症例が多い眼科病院

眼科で協力が得られた施設を中心に整形外科でもエントリー開始

相崎先生：医師会を通じた自治体の陽性者FU

新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究(20HC104) 今後の計画 (相崎担当)



加藤先生：拠点病院以外での院内非専門医陽性者対策

当院では救急科の陽性者数が多いため、HCV治療適応となる症例が少ない

→ 2022年1月、救急受診陽性者に郵送連絡開始。

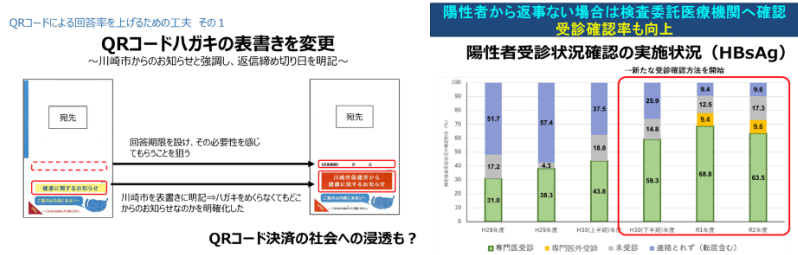
HBs抗原陽性者は健診で比較的多数みとめられ、依然として多くの未受診者の存在が疑われる。

→ **HBV陽性者対策が必要**
結果郵送時の受診勧奨ポスター同封、再受検時の対面受診勧奨の再徹底を。

その他①：川崎市 QR コード・委託医療機関を介した受診確認率向上（論文化？）

③-b: 新規手法班 全体・重要研究（川崎市） 論文化？

NM: QRコードや検査医を活用した受診確認(川崎市)



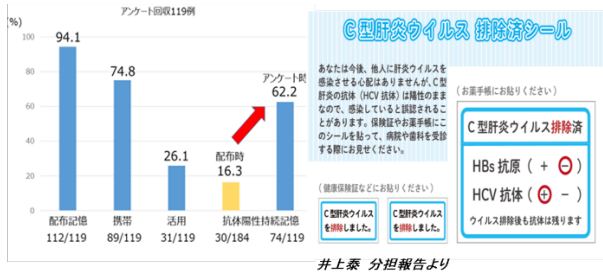
Q. 受診確認調査は患者さんへ電話・調査票郵送
G. 全国展開

その他②：ウイルス排除カード展開（山梨大での取り組み論文化？⇒他施設で）

③-a.新規手法班 全体・重要研究 論文化？

NM:HCV排除カードを用いた認識度調査(多施設検討中)

B. HCV抗体が持続陽性であることを知らない
ウイルス排除したことを説明しても信じて貰えない
G. 患者さんへの認識度向上⇒医療機関で活用



その他③：8拠点病院院内陽性者疫学（論文化11）・陽性者実態調査（要調査協力）

2-c. 新規手法班 全体・重要研究(是永)

NM:拠点病院における非専門医陽性率・紹介率調査

Q. 陽性者数・陽性率の高い非専門医科は？
G. 高率よく受診・受療対象者が多い非専門医科へ介入し成功例をクリニックへ展開

結果⑤8拠点病院における非専門医科別HCV抗体検査数・陽性率
眼科・整形外科の陽性者対策が重要（泌尿器・消化器外科も）

検査数			陽性率		
HCV抗体検査数ランキング	検査数	施設数	HCV抗体陽性率ランキング	陽性率	施設数
1 眼科	40,192	7	1 消化器外科	2.71%	2
2 産婦人科	32,173	6	2 整形外科	2.57%	5
3 整形外科	25,022	7	3 眼科	2.51%	7
4 歯科口腔外科	13,206	8	4 泌尿器科	1.96%	3
5 泌尿器科	12,976	3	5 歯科口腔外科	1.53%	8
6 消化器外科	9,526	2	6 皮膚科	1.44%	1
7 皮膚科	3,949	1	7 産婦人科	0.65%	6
参考 その他	281,525	-	参考 その他	2.48%	-

診療科名	HCV抗体(検査数・構成比・陽性数・陽性率)			
	検査数	構成比	陽性数	陽性率
2016～2020年(5年)				
専門医科	46,904	10.1%	2,982	6.36%
非専門医科	418,569	89.9%	9,611	2.30%

*健康増進事業HCV抗体陽性率:
0.76% (2016～2020)
HCVRNA陰性者含

注:消化器外科2施設 泌尿器科3施設のみ上位にランキング

陽性者の詳細状況調査票をお送りしますのでご対応をお願いします

その他④：HCV 抗体陽性 HCVRNA 陰性者増加（排除カード以外の対策は？）

健康増進事業	HCV抗体受検数	高力価陽性	中低力価RNA陽性	HCV感染の可能性が高い率	中低力価RNA陰性	HCV抗体陽性者数	HCV抗体陽性率	HCVRNA陰性率
2016年	917,794	2,967	720	0.40%	4,379	8,066	0.88%	54%
2017年	926,173	2,582	654	0.35%	4,344	7,580	0.82%	57%
2018年	761,638	1,945	519	0.32%	3,314	5,778	0.76%	57%
2019年	704,076	1,116	404	0.22%	2,913	4,433	0.63%	66%
2020年	<u>589,044</u>	856	378	0.21%	2,506	2,884	<u>0.49%</u>	<u>87%</u>
計	3,898,725	9466	2675	0.31%	17456	28741	0.74%	61%

その他⑤：肝 Co 養成講座の均てん化（川部先生へ調査と理想の講習内容を検討して頂く）

令和3年度 鹿児島県肝炎医療コーディネーター養成講座

日時：2021年12月5日(日) 10:00~11:55
 場所：LI-KA 19-20 (ライカ) 5階
 対象：医療機関、行政等の職員、肝炎医療コーディネーターとして活動したい方
 定員：定員120人（参加申込済） ※一部Web参加になります。
 参加費：無料
 申込方法：下記の申込QRコードまたはURLからお申し込みください。
 締切：2021年11月21日(日) 21時
 ※締切の前でも定員に達した際には、申込フォームを閉じさせていただきます。ご了承ください。
 主催：鹿児島大学病院肝炎相談センター・鹿児島県くらし保健福祉部健康推進課
 後日：受講確認が取れた方に鹿児島県発行のコーディネーター認定証と認定バッジを郵送

プログラム		講師
10:00~10:05 5分	開会の挨拶	鹿児島大学病院 消化器内科 教授 肝炎医療相談センター センター長 井戸 聡雄 先生
10:05~10:15 10分	講演1 肝炎に関する制度について (肝炎医療コーディネーター 業務開始の経緯)	鹿児島県くらし保健福祉部健康推進課 担当 佐藤 雅夫 先生
10:15~10:45 30分	講演2 押さえておきたい肝臓病のキーワード (ウイルス肝炎、肝臓病、肝臓)	鹿児島大学病院 肝炎医療相談センター 特任助教 小田 健平 先生
10:45~11:00 15分	講演3 肝炎患者としての思い	鹿児島県立中央病院 消化器内科 患者課 黒木 裕美子 氏
11:00~11:05	休憩	
11:05~11:50 45分	講演4 肝炎医療コーディネーターの活動内容 ～活動して思うこと～ 会場のみならず、ディスカッション	県内3施設 肝炎医療コーディネーターの方々 知念水産養殖院 医療ソーシャルワーカー 1名 鹿児島市立西工庫 保健師 1名 名瀬市立中央病院 臨床検査技師 1名
11:50~11:55 5分	閉会の挨拶	鹿児島大学病院 消化器内科 教授 肝炎医療相談センター センター長 井戸 聡雄 先生

※受講後は、毎日メールで送付しますアンケートフォームへの回答をお願いします。

令和3年度愛知県肝炎医療コーディネーター養成講習会

日時：令和4年3月13日(日) 10:00~16:00
Web形式

<午前の部>

10:00~10:05 開会挨拶 愛知医科大学病院 肝臓病内科 教授 米田 政志

10:05~10:30 総論：肝臓のはたらきとウイルス性肝炎 愛知医科大学病院 肝臓病内科 特任教授 伊藤 清顕

10:30~10:50 脂肪肝の診断と治療 愛知医科大学病院 肝臓病内科 特任准教授 角田 圭雄

10:50~11:10 肝硬変と肝臓癌の診断と治療 愛知医科大学病院 肝臓病内科 特任教授 中出 幸臣

11:10~11:25 コロナ禍での肝炎医療に関して 愛知医科大学病院 肝臓病内科 助教 坂本 和寛

11:25~11:35 肝炎医療コーディネーターの活動モデル(1) 一病種での活動 愛知医科大学病院 看護部 肝炎医療コーディネーター 榑 宣博

11:35~11:45 肝炎医療コーディネーターの活動モデル(2) 一肝炎患者に関する栄養指導 愛知医科大学病院 栄養部 肝炎医療コーディネーター 田中 竜二

13:00~13:15 肝炎患者に関する医療福祉制度 愛知医科大学病院 肝炎相談室 肝炎医療コーディネーター 小堤 歩

13:15~13:35 愛知県の肝炎政策について 愛知県感染症対策局感染症対策課 主事 菊川 拓

13:35~13:50 肝炎医療コーディネーターに求められること(愛知医科大学の取り組み) 愛知医科大学病院 肝臓病内科 特任教授 伊藤 清顕

13:50~14:20 肝炎医療コーディネーターに求められること(香川県の取り組み) 香川県立中央病院 院長補佐 高口 浩一

14:30~15:00 鹿児島県における肝炎医療コーディネーターの取り組み 鹿児島大学 消化器疾患・生活習慣病学分野 教授 井戸 聡雄

15:00~15:20 肝炎医療コーディネーターに期待すること 日本肝臓病学会団体協議会 代表幹事 NPO 法人東京肝臓友の会事務局長 米澤 敦子

15:20~15:55 肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指して 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター 副院長 八橋 弘

↑ 鹿児島県 web 2時間
愛知県 web 6時間 ⇒

3. 事務連絡

- ①門脈亢進症学会への登録
- ②9月11日研究班主催 愛知県肝炎 Co 養成講習講師募集（井上貴子先生へ）
- ③7月31日肝臓学会主催 研究班共催 市民公開講座（関東地区） 参加お願い（別紙）
- ④作業部会 班会議予定案
 - 特定科対策（7月16日 15時30分 or 16時開始） 職域・両立（9月24日 PM?）
 - 自治体（9月 or 11月） 第2回班会議 11月26日夕方～仙台

R4 年度第 2 回「新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資
する研究」班会議 Final Agenda

日時 2022年11月26日(土) 第一部 15時20分~18時30分
(現地開場/web入室14時50分~)
第二部 18時45分~20時45分(最長21時)

開催方法:会場+zoom meeting(ハイブリッド開催) *第2部は現地のみ

会場:TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口 ホール7B

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-sendai-nishiguchi/access/>

WEB:Zoom meeting invitation - 肝炎情報C 是永のZoom ミーティング

<https://us02web.zoom.us/j/89670455516?pwd=VDhXOTVYYnU4RXdHYzkwK0xiWUhhZzZzOQ==>

ミーティングID: 896 7045 5516 パスコード: 585751

(緊急連絡先:是永携帯 09068396947)

参加者(敬称略):52名(肝炎室・PO・

会場 (29名):木塚・考藤・立道・徳本・日浅・井上貴・内田・井上淳・井出・中原・相崎・磯田・高橋・柿崎・戸島・川部・加治屋・大原・永田・西村・立木・黒岡・今井・小泉・竹内・磯江・應田・劉・是永

web (23名):島上・後藤・沢口・戸所・榎本・小塚・遠藤・井上泰・日高・末次・小川
今井・渡辺・加藤・荒生・酒井・池上・平井・瀬戸山・行本・野沢・滝澤・森山

欠席(2名):江口 深井

進行 (wはwebにて発表 web参加者は会議中カメラオンでお願いします)

・挨拶 15時20分~

肝炎対策推進室(木塚様・w野沢様・w行本様) 肝炎情報センター(考藤先生)

プログラムオフィサー(w森山様) 研究企画調整センター/松岡班(w滝澤様)

・議 題

1. 政策研究班から情報共有(各3分 スライド有)

松岡班(木塚様) 考藤班(考藤先生) 金子班(w島上先生)

2. 3年間の研究成果(→経過よりも結果を報告)

15時40分~

a 重点課題~肝炎ウイルス撲滅のための新規手法~(スライド5枚迄 各5分以内)

歯科:井上貴先生(追加発言:加治屋先生)・瀬戸山先生

眼科:高橋先生・西村先生・w戸所先生・大原先生

拠点病院肝Co対策:磯田先生(追加発言:w榎本先生)

専門医療機関の非専門医陽性者対策:w井上泰先生(追加発言:井出先生)

非認識者受検者減少を考えた陰性結果カード有用性：w 池上先生
両立支援の現状；徳本先生（追加発言：日浅先生）
D&I 研究（職種別陽性率）/健診医療機関における FIB-4 有用性：立道先生
委託医療機関を活用した陽性者受診確認率向上：今井様/小泉様・w 小川先生
協会けんぽ肝炎ウイルス検査促進・院内陽性率・ウイルス排除カード・（是永）
→ 17 時 10 分まで

b. 個別発表(スライド 3 枚迄 3 分以内 地域/拠点病院の新規手法の結果 共同研究以外)

宮城：井上淳先生
群馬：柿崎先生/戸島先生
新潟：w 荒生先生/w 酒井先生
埼玉：内田先生
岐阜：末次先生
山口：w 日高先生
熊本：w 瀬戸山先生
宮崎：永田先生
透析施設：w 遠藤先生
高感染地域の陽性者対策：w 小塚先生 →最長 18 時 00 分まで

3. コメント（班研究結果から考える今後展開・必要なこと・要望 口頭 1~2 分）

肝 Co 均てんかの必要性：川部先生
肝 Co の立場から：立木様
専門医療機関の立場から：w 加藤先生
自治体の立場から：黒岡様
感染研の立場から：相崎先生
肝炎情報 C の立場らから：竹内先生
医療行動経済学の立場から：w 平井先生
費用対効果の立場から：w 後藤先生/w 沢口先生

4. 総評

プログラムオフィサー（w 森山様）

5. 事務連絡

成果概要・報告書・作業部会（3/18 非専門医対策+職域）半年間で行うこと

第 2 部：今後について（成果物の水平展開・新規取り組み）